

北陽だより

今年度の重点目標 自ら進んで考え、友だちと学び合い、
分かるように伝え合うことのできる子どもの育成

〈 学校教育目標 〉

- ◇ 考 え る 子
- ◇ 助 け 合 う 子
- ◇ ね ば り 強 い 子
- ◇ た く ま し い 子

全校で取り組む読書活動

校長 金崎 徳子

学校の周りの木々もあつという間に葉を落とし、羊蹄山やニセコ連邦の山頂付近にははっきりと積雪の白さが見られるころとなりました。

23日には、学習発表会が行われました。さまざまな制約がある中でしたが、保護者の皆様に見守られ、一人一人が力を発揮し、やりとげる達成感や友達と創り上げる喜びを味わう発表ができました。保護者の皆様の温かいまなざしと拍手を心から感謝いたします。ありがとうございました。この学習発表会の取組の中で、これまで十分にできなかった広い場所で多くの人に向けて話す活動を通して、伝える力の伸びが見られたと思います。その成果は朝の挨拶にも表れ、相手より先にはっきりとした声で挨拶ができる子が増えてきています。

さて、北陽小学校では10月26日から11月5日までを「秋の読書週間」として、全校で読書活動に取り組んでいます。4年前から取り組んでいる「目指せ！100冊1万ページ」は、今年はずでに100冊を達成した子、200冊、300冊を達成した低学年や、3万ページを達成した高学年もいます。ホールの柱に掲示している「読書の木」に達成した子の名前が貼られています。また、読書週間に合わせて先生方全員がおすすめの一冊を紹介する「先生方のおすすめの本紹介」コーナーが、ホールに作られました。21名の先生方が一人一冊ずつ、全部で21冊の本が紹介されています。29日の朝読書の時間には担任以外の先生が教室に行って読み聞かせを行う「びっくり読み聞かせ」も実施しました。担任ではない先生の読み聞かせは、子どもたちも新鮮で楽しく聞いてくれました。子どもたち自身の活動は、全ての学年の国語の教科書に読書活動の単元がありますので、時期はズレますが、学年ごとに図書を紹介



し合う活動に取り組めます。

北陽小学校の子どもたちは、本好きな子がとても多く、朝読書や隙間時間など読書に没頭する様子がよく見られます。ですが、ほとんど本を読まない子がいることも事実です。秋の読書週間を通して、本を手にとるきっかけになったり、さらに本好きになったりすることを期待しています。そして、本から心の栄養をたっぷりと吸収し蓄えてほしいものです。



☆できない 失敗 あたり前 そこからの一歩前進！

